第7講　武家政権の確立

PART6 鎌倉仏教と鎌倉時代の文化

Chapter 1　鎌倉新仏教と旧仏教の革新

目標　鎌倉仏教の６宗派に共通する特色について知ろう。
蒙古襲来後に伊勢神道が成立したのはなぜだろう？

1　鎌倉仏教

①成立の背景

Ａ　戦乱・飢饉・天災の頻発による社会不安と末法到来の無常観

Ｂ　奈良仏教・平安仏教の腐敗と世俗化に伴う武士・庶民の救済要求

②**鎌倉新仏教**の特徴→仏教を武士・庶民に開放

Ａ　易行（旧仏教の求めるような複雑な修行を必要としない）

Ｂ　選択（ただ一つの救いの方法を選ぶ〔念仏・坐禅・題目〕）

Ｃ　専修（選びとった方法にひたすら打ち込む）

③　鎌倉仏教の６宗派

Ａ　**念仏「南無阿弥陀仏」**を唱える他力本願系

あ　〔1　　　　　〕（**法然**が開祖，中心寺院は京都府の**知恩院**）

専修念仏が教義，著書『**選択本願念仏集**』。

※南都六宗から迫害され，土佐国（実際は讃岐国）に一時配流。

い　**浄土真宗〔一向宗〕**（〔2　　　　　〕が開祖，中心寺院は京都府の東西**本願寺**）

一向専修念仏・絶対他力や**悪人正機**が教義，著書『〔3　　　　　　　〕』。

※師の法然に連坐し越後国に配流される。

※親鸞の死後に弟子の唯円が『**歎異抄**』を著す。

う　〔4　　　　〕（**一遍**〔捨聖〕が開祖，中心寺院は神奈川県の清浄光寺〔遊行寺〕）

遊行・〔5　　　　　〕が教義，著書は残っていない。

Ｂ　〔6　　　　〕を組む自力開悟系＝**禅宗**

あ　〔7　　　　　〕（**栄西**が開祖，中心寺院は京都府の建仁寺）

公案問答〔禅問答〕が教義，著書『**興禅護国論**』『**喫茶養生記**』。

※南宋から**蘭渓道隆**や**無学祖元**が来日し，鎌倉に建長寺や円覚寺を開山。

い　**曹洞宗**（〔8　　　　〕が開祖，中心寺院は福井県の**永平寺**）

只管打坐が教義，著書『〔9　　　　　　　〕』。

C　〔10　　　　　〕**「南無妙法蓮華経」**を唱える法華系

日蓮宗〔法華宗〕（〔11　　　　〕が開祖，中心寺院は山梨県の**久遠寺**）

唱題・**法華経至上主義**が教義，著書『〔12　　　　　　　　〕』。

※鎌倉幕府により伊豆国のち佐渡国に配流される。

2　その他の宗教

奈良仏教（＝南都六宗）は鎌倉仏教を批判，戒律の尊重を唱え社会事業も実施。

平安仏教（天台宗・真言宗）は修験道を組織し，神仏習合を進めた。

①南都六宗

A　**法相宗**

貞慶〔解脱〕が山城国笠置寺を中興，『興福寺奏状』を著し法然の専修念仏を攻撃。

B　**華厳宗**

高弁〔明恵〕が京都栂尾に高山寺を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃。

C　**律宗**

あ　俊芿が渡宋から帰国後，京都に泉涌寺を開山。

い　**叡尊〔思円〕**が奈良の西大寺を再興，自伝『感身学正記』を著す。

う　**忍性〔良観〕**が奈良に**北山十八間戸**を建て，ハンセン病患者を救済。

※のち鎌倉の極楽寺で悲田院を建て，慈善事業につとめた。

②〔13　　　　　　〕の隆盛

原始的山岳信仰と仏教の密教的信仰が融合した宗教で，

天台宗・真言宗の下に組織され発展，**山伏**たちが各地で修行した。

③〔14　　　　　　　　〕

蒙古襲来後，伊勢神宮外宮の神官〔15　　　　　　　〕が

反本地垂迹説〔神本仏迹説〕を唱え『神道五部書』を体系化。

新たに『**類聚神祇本源**』を著す。

※本地垂迹説を唱える天台宗系の山王一実神道，真言宗系の両部神道と対立。

まとめ　鎌倉仏教の６宗派に共通の特色は，易行・選択・専修である。
蒙古襲来後，神国思想が広まり伊勢神道が体系化された。

Chapter 2　鎌倉文化

目標
鎌倉文化の（特に彫刻や絵画に見られる）特色について知ろう。
鎌倉時代から歴史関係の作品が多くなるのはなぜだろう？

1　建築・彫刻・絵画・書道・工芸

〔1　　　　　　〕は，公家の伝統文化を受け継ぎつつ，
武家の時代を反映し**素朴で力強い写実的な公武二元文化**である。

①建築
蓮華王院本堂〔三十三間堂〕（京都・和様），
〔2　　　　　　〕（奈良･**大仏様**,〔3　　　　〕が宋人陳和卿の協力で再建），
〔4　　　　　　〕（鎌倉・**禅宗様**〔唐様〕），
観心寺金堂（河内国・折衷様）など。

②彫刻→南都復興に際する，康慶を祖とする慶派の奈良仏師たちの活躍。
東大寺南大門金剛力士像〔阿形像･吽形像〕（運慶･快慶ら），蓮華王院千手観音像（湛慶），
興福寺天灯鬼・竜灯鬼像（康弁），**六波羅蜜寺空也上人像（康勝）**，東大寺重源上人像，
高徳院阿弥陀如来像**〔鎌倉大仏〕**など。

③絵画
絵巻物『**蒙古襲来絵詞**』『**男衾三郎絵巻**』『北野天神縁起絵巻』『春日権現験記絵』
『石山寺縁起絵巻』『法然上人絵伝』『**一遍上人絵伝**〔一遍聖絵〕』など。
似絵では**藤原隆信・信実**父子が活躍。
ほかに禅僧による師僧の肖像画の〔5　　　　〕や地獄草紙・餓鬼草紙・病草紙など。

④書道
尊円入道親王〔尊円法親王〕が，
和様に宋の書風を加味した**青蓮院流**を創始。

⑤工芸
刀剣の粟田口吉光（京都），
岡崎正宗（鎌倉），長船長光（備前国），
陶器の〔6　　　　　〕・常滑焼**（尾張国）**，
信楽焼（近江国），備前焼（備前国）など。

円覚寺舎利殿

2 文芸・歴史・学問

①歌集

『〔7 〕』

（1205年，**後鳥羽上皇**の命で**藤原定家**・家隆らが編纂）は，八代集の最後となる

勅撰和歌集。体言止め・本歌取りなどの技巧的な表現，観念的な美の境地は

新古今調とされる。ほかに『**山家集**』（**西行**），『**金槐和歌集**』（３代将軍**源実朝**）など。

②説話・物語

説話集の『宇治拾遺物語』『十訓抄』『古今著聞集』

『沙石集』（無住の著した仏教説話），

軍記物語の『保元物語』『平治物語』『**平家物語**』

（〔8 〕により**平曲**として語られる）

『源平盛衰記』（平家物語の異本）など。

琵琶法師

③日記・随筆

日記の『玉葉』（九条兼実），紀行文の『海道記』『東関紀行』

『**十六夜日記**』（**阿仏尼**），随筆の『**方丈記**』（〔9 〕）

『〔10 〕』（**兼好法師**）など。

④歴史

公家から武家への政権移行を事実として認めざるを得ない状況の中，**歴史意識が高まる**。

『水鏡』（四鏡の３つめ）『〔11 〕』（**慈円**），〔12 〕

（鎌倉幕府の公式記録）『**元亨釈書**』（**虎関師錬**，初の仏教史書）など。

⑤学問

古典研究の『万葉集註釈』（仙覚），『釈日本紀』（卜部兼方），

朝廷の儀式・年中行事・先例を研究する**有職故実**の『禁秘抄』（順徳天皇），

初の武家による私設図書館の〔13 〕（**金沢実時**）など。

⑥思想

南宋の朱熹が始めた〔14 〕〔**宋学**〕が伝来。

君臣の別を説く**大義名分論**は，後醍醐天皇の討幕運動の理論的支柱となった。

まとめ

鎌倉文化は，武家の時代を反映し素朴で力強く写実的な傾向がある。

鎌倉時代には，公家の歴史的意識が高まり，歴史関係の作品が増える。

第 7 講　PART 6　確認問題

1　浄土宗の中心寺院はどれか。

①　建仁寺　　②　久遠寺
③　知恩院　　④　永平寺

2　栄西の著書はどれか。

①　『教行信証』　　②　『興禅護国論』
③　『正法眼蔵』　　④　『選択本願念仏集』

3　曹洞宗の教義はどれか。

①　只管打坐　　②　悪人正機
③　公案問答　　④　題目

4　南都六宗の律宗に属し，奈良に北山十八間戸を建てた僧はだれか。

①　高弁　　②　忍性
③　貞慶　　④　叡尊

5　六波羅蜜寺空也上人像をつくったのはだれか。

①　康勝　　②　重源
③　湛慶　　④　快慶

6 西行の作品はどれか。

① 『十訓抄』　② 『山家集』
③ 『玉葉』　④ 『金槐和歌集』

7 『方丈記』を著したのはだれか。

① 阿仏尼　② 兼好法師
③ 無住　④ 鴨長明

8 慈円が道理による歴史解釈をこころみた著作はどれか。

① 『愚管抄』　② 『元亨釈書』
③ 『禁秘抄』　④ 『吾妻鏡』

第７講　PART６　確認問題 解答

1 解答：③　①の建仁寺は**臨済宗**，②の久遠寺は**日蓮宗〔法華宗〕**，④の永平寺は**曹洞宗**の中心寺院。

2 解答：②　①の『教行信証』は**親鸞**，③の『正法眼蔵』は**道元**，④の『選択本願念仏集』は**法然**の著書。

3 解答：①　②の悪人正機は**浄土真宗**，③の公案問答〔禅問答〕は**臨済宗**，④の題目は**日蓮宗〔法華宗〕**の教義。

4 解答：②　①の**高弁**〔明恵〕は華厳宗，③の**貞慶**は法相宗に属する。④の**叡尊**も**忍性**と同じ律宗に属すが，奈良の西大寺を再興した。

5 解答：①　②の**重源**は東大寺を再建し，③の湛慶は蓮華王院千手観音像，④の**快慶**は**運慶**らとともに東大寺南大門金剛力士像をつくった。

6 解答：②　①の『十訓抄』は説話集，③の『玉葉』は九条兼実が著した日記，④の『**金槐和歌集**』は３代将軍**源実朝**の和歌集である。

7 解答：④　①の阿仏尼は『**十六夜日記**』，②の兼好法師は『**徒然草**』，③の無住は『沙石集』を著した。

8 解答：①　②の『**元亨釈書**』は虎関師錬，③の『禁秘抄』は順徳天皇が著した。④の『**吾妻鏡**』は鎌倉幕府の公式記録である。